

凌霜

郡上市の教育理念

【凌霜の心】=高い志と不屈の精神・感謝の心

郡上市教育委員会指定 大和中学校公表会

「こころの時間」の推進

岐阜県では「第4次岐阜県教育振興基本計画」において、「自己のかけがえのない存在」を大切にするとともに、多様な人とのつながり、関わる力を育むことを通して、「豊かな人間性」の育成を目指しています。

郡上市はこれに先駆けて平成23年に「命の教育カリキュラム」を作成。令和2年には、教育活動の内容をより具体化した改訂版を作成しました。各小中学校では、このカリキュラムをもとに、道徳や特別活動の時間の充実を図っています。

大和中学校は、令和5年度から、郡上市の研究推進校として、「自分の『いのち』」も周りの『いのち』も大切にする生徒の育成へ一人ひとりが自己肯定感や自己有用感を高めるための指導を通して「命」を研究主題とし、実践を重ねてきました。11月6日には公表会を開催し、市内教員や保護者など多くの参観者に研究の成果を発表しました。

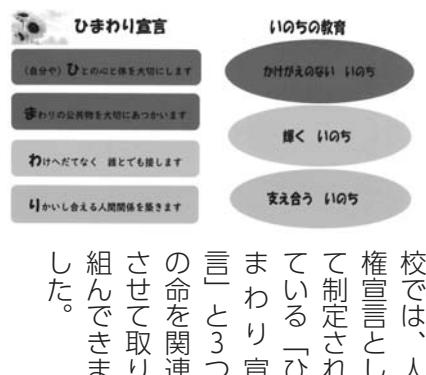
月	内 容	
第1回 4	みんなが抱える悩みについて考えよう	自分の心を知る
第2回 5	不安な時の心のサインを知ろう	
第3回 6	困ったとき、誰に相談しよう	
第4回 7	夏休み中に困ったらどうしよう	
第5回 9	相談できる人はいるか見つめなおそう	SOSの出し方を知る
第6回 10	相談の切り出し方について考えよう	
第7回 11	セルフリラクゼーションを体験してみよう	
第8回 12	周りの仲間が困っていたら	周りのSOSに気づく
第9回 1	相談してもうまくいかないときはどうしたらよいだろう	

「こころの時間」の年間計画

4月、「みんなが抱える悩みについて考えよう」というテーマで行った「こころの時間」では、「僕は、勉強が心配だった。自分だけかも」と思っていたけど、

大和中学校では、「こころの時間」と称して、月に1回、15分間の学級活動を実施しています。この時間は、心のもち方にについて考えることを目的として、仲間との交流の中で多様な考え方についざつたり、自分の心のあり方を見つめたりできるよう計画されています。

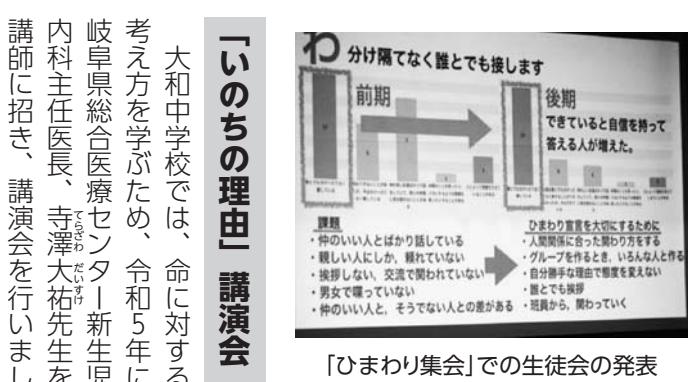
多くの人が勉強について心配していることが分かつて少し安心した。だから、勉強は苦手だけど、みんながいてくれるから3年間勉強を頑張ろうと思えた」と、仲間の悩みを知ったことで、自分の悩みとの向き合い方を学ぶ生徒もいました。



「ひまわり宣言」をもとにした自己の振り返り

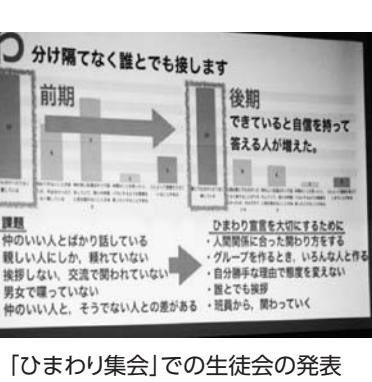


「こころの時間」のペア交流



「ひまわり集会」での生徒会の発表

「ひまわり宣言」について振り返る「ひまわり集会(人権集会)」では、「ひとの心と体を大切にします」について、「自分の良さや得意なことをわかつていていますか」「最近、頑張ったなど感じたことはありましたか」「まわりの人は、一人ひとりが、大切な存在だと思います」について、全般的に全校で交流し、生徒が振り返りを、「ひまわり集会」において全校で交流し、生徒が主体となって命について考える取組みが行われました。



「ひまわり集会」での生徒会の発表



寺澤先生の講演会の様子

「命の教育」は、子どもたちの心を育むために、学校教育にとって必要不可欠なものです。大和中学校が行った3年間の研究は、今回の公表会を通して、市内に共有されました。今後、市内の子ども一人ひとりに「命の教育」を通して、豊かな人間性を育んでいきます。

問

教育委員会学校教育課